

門奈紀生



# ASTRORICO (アストロリコ)

世界に誇るバンドネオン奏者、門奈紀生が中心となって'91年に結成。デビューの翌年からスペイン、アルゼンチンを歴訪。「アルゼンチンの心」「驚異的な演奏」と絶賛される。'95年日本人として初めてグラナダ国際タンゴフェスティバル、翌年にはタンゴサミットに招聘出演を果たす。'00年CD『ZUM』、'02年アストロリコ10周年記念盤CD『オスバルド・プグリエーセに捧ぐ』この2枚はアメリカのタンゴ専門誌でも高い評価を得ている。第17回東京国際映画祭協賛企画フェスティバル公式上映作品『Turn over～天使は自転車に乗って～』の映画音楽も手がけた。12月より「岩波ホール」で上映予定。

平井かほる



麻場利華



大塚功



# DIAMOND ♡ DOGS (ダイヤモンド・ドッグス)



東山義久



KYOHEI

ダンスパフォーマンスで活躍する実力派7人で結成され、ダイヤモンドの原石のように“華と実力と魅力”に満ちた全く新しいユニット【ダンサー+アクター+ヴォーカリスト】で様々な個性で真のエンターテイメントを魅せている。8月にサマーディナーショーとミュージカル『ロミオとジュリエット』、11月にはD☆Dのみのミュージカルを予定。



SHUN



森新吾



小寺利光



大塚俊介



MITSU

振付 原田薫 / 鈴木富美恵 / SHUN

衣装 内藤千佳

ゲスト 杏子



として活動も話題に。今年秋には深沢敦氏との共同プロデュースでミュージカル『URASUJI』を上演予定。

## 筑紫哲也

(ジャーナリスト)

「比類なきタンゴコラボレーションで毎回タンゴファンの裾野を広げているタンゴモデルナだが、今回は若い皆さんがタンゴの素直さに出会える秀逸の機会となることだろう」と、わたしは去年の11月、VOL.V初演時のフライヤーに書いている。結果は、本当にこれがタンゴの公演かと思う程、若いファン層で会場は埋めつくされた。熟年の根からのタンゴファンと共に、タンゴを心底楽しんでいる彼女(彼)らの表情は、まさに「一モデルナ」という、この企画の面目躍如たるものだった。

勿論わたしも、ステージをフラットにして客席を250人限定とした臨場感溢れる贅沢な会場設定の中、期待感高まるオープニングから、圧巻のエンディングまで、あっという間の上質でエキサイティングな2時間を存分に楽しんだ。

アストロリコの演奏は、D・Dのダンスとの共演で、より熱く優しく心にせまる。そして何よりも、アルゼンチンやアメリカで絶賛された彼らにして、かつてない程の楽しげな様子は感動的でした。D・Dのダンスはタンゴというひとつの課題に在って、7人それぞれの個性がより明確に際立った。リーダー東山くんの“華”はモデルナのフロアに大輪と咲いた。

ただ、後ろのほうの席はダンスの足元が見えにくかったり、早々にチケットが売り切れとなった為、評判だけ聞いて実際のステージを見られなかったファンも大勢いたようだった。そこで今回は、会場をガーデンルームからホールへスケールアップしての再演となった、と聞く。確かにホールになり、観客全員が圧倒的に見やすくなる。その上で、「やはり通常のステージ設定にはけっしてしない」と、プロデューサー氏。新たなD・Dダンスシーンも加わると言う。そして今回のゲストは、ハスキーな声が魅力のカッコいい杏子さん、彼女もまたタンゴ初挑戦とか。これはもうVOL.Vの単なる再演というより、再び「タンゴモデルナ新たな伝説の誕生」と言えるだろう。

●協賛: YEBISU GARDEN PLACE  
●協力: ★ SAPPORO / ● KOSÉ / Asaaka Rose  
(株) M・G・H / ソルナー音楽事務所

●企画・構成・プロデュース: まあくまさこ  
●制作: MARK&I